

双葉郡は浜通り地区に位置し、広野町・楡葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・川内村・葛尾村の6町2村で構成されています。この地域では津波による犠牲者が出ただけでなく、原発事故により大勢の人が避難を余儀なくされました。しかし原発事故から12年が経った今、避難指示が徐々に解除され、郡内の人々の暮らしも少しずつ戻り始めています。

ふたばいんふおでは、そうした郡内の状況を伝えるため、震災や原発事故の経緯などを記録。行政などの最新情報を発信するほか、語り部ガイドなども実施しています。語り部ガイドは、予約時に見たい場所や知りたいことを伝えると、希望に沿ったルートで案内してくれます(要予約・問合せ)。

また地元住民が一時帰宅する際に必要な情報を提供したり、交流したりできるなど、地域の絆を保つ施設としても機能しています。



ランチやコーヒーを楽しめるcafe135(カフェひさご)を併設する民営の施設。資料や書籍などは自由に閲覧可能で、コワーキングスペースとしても利用されている。双葉郡の名産品・グッズを取り揃えるおみやげコーナーも



85型の大型モニターが設置され、8町村の過去から現在に至る歩みや四季の風景を見ることができる。各町村が配信している情報も常時放映。共有スペースにはパネルが展示されている



スタッフが集まり議論を重ね、どんな情報を発信し、どんなイベントを開催するかを検討する。常に住民の目線で物事をとらえて発信している。展示も民営施設ならではの工夫に満ちている

考えてみよう

Q1 双葉8町村の情報発信センターとして写真や映像などを公開しているふたばいんふお。各町村ごとにまとめられた展示内容にはどのような思いが込められているのでしょうか?

A1 双葉8町村は原発事故による被災地の中心だが、復興のスピードはそれぞれの町村ごとに異なる。その違いを知ってほしい。

とみおかまち
富岡町

ふたばいんふお

双葉郡の最新情報を伝える交流施設

富岡町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	1km ²
最大浸水深	21.1m
全壊	355棟
半壊	2,819棟
一部損壊	2,130棟
死者	472人
行方不明者	6人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド
車椅子OK

語り部あり
※応相談

施設DATA

- ふたばいんふお
- ふたばいんふお
- ☎ 0240-23-6612 MAP P116F3
- 📍 富岡町小浜中央295
- 🚗 常磐自動車道富岡ICから車で10分
- 🕒 11~18時
- 📅 不定休(夏期・冬期休館あり)
- 🆓 無料
- 📍あり(大型バスは近隣の駐車場を紹介)
- 🌐 <https://futabainfo.com>

